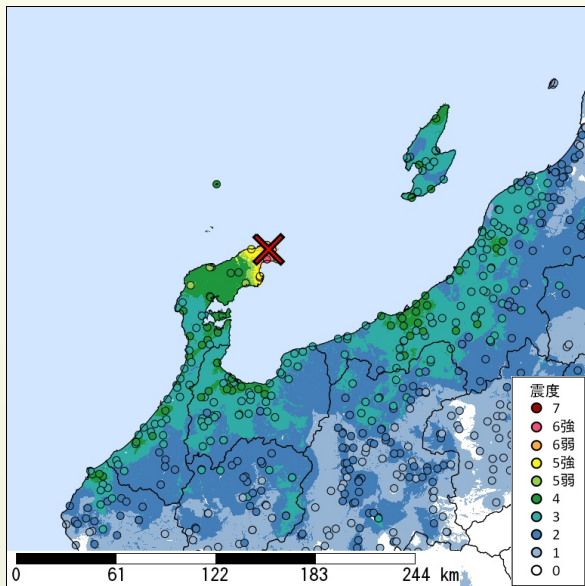


M 6.3, 震源地:石川県能登地方, 深さ約10km, 2023/05/05 14:42頃発生 (気象庁発表)

震度の分布

最大観測震度6強(*)



解析開始時点(2023/05/05 14:52:13)で収集されている防災科研K-NET, KiK-net, 気象庁, 地方公共団体震度計の計測震度データを利用。(※)気象庁発表の情報と一致しない場合がある。一部正式な震度観測点ではない観測点を含む。暫定的な震度値を含む。丸印は観測、塗りつぶしは推定データ。×印は震央位置。他の図表も同様。

主要都市の推定震度

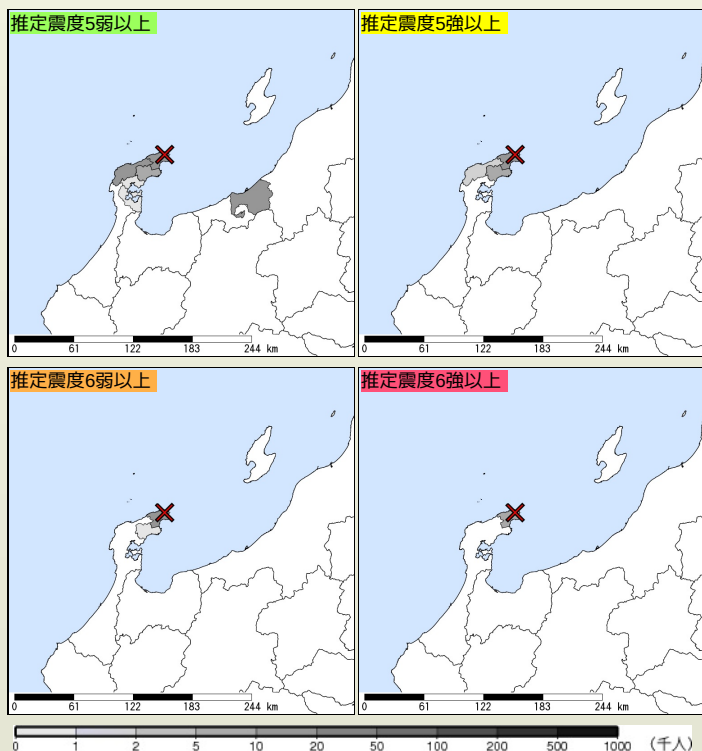
(都市の最大観測震度と人口を考慮して掲載)

最大(*) 観測震度	推定震度頻度分布 1 2 3 4 5-5+ 6-6+ 7	市区町村名	全人口：昼間 (人)	震央距離 (km)
6強		石川県珠洲市	17,000	7
6弱		石川県鳳珠郡能登町	19,000	25
5弱		石川県輪島市	29,000	37
4		新潟県上越市	200,000	91
4		石川県七尾市	61,000	58
4		新潟県佐渡市	64,000	110
4		新潟県長岡市	290,000	136
4		石川県金沢市	500,000	119
4		富山県高岡市	180,000	86
4		石川県小松市	110,000	143
4		富山県富山市	460,000	89
4		新潟県三条市	110,000	147
3		新潟県新潟市西区	140,000	152
3		石川県白山市	100,000	127
3		新潟県新潟市東区	120,000	163
3		新潟県新潟市中央区	260,000	159
3		長野県長野市	390,000	123
3		福井県福井市	300,000	186
3		滋賀県長浜市	120,000	252
3		福島県会津若松市	130,000	231

最大観測震度は、各市町村村内で観測された最大震度。観測された計測震度を250mメッシュで補間し、市区町村ごとに推定震度強度分布を作成した。報聞開始時刻が9:00-18:59のととき間人口、19:00-8:59のととき夜間人口を示し、平成22年国勢調査、平成21年経済センサス-基礎調査等のリンクによる地域メッシュ統計を二桁精度にするよう四捨五入した。震央距離は震央から各市区町村中心部までの距離。

行政区ごとの震度遭遇人口

(各震度階級の揺れに遭遇した人口を考慮して掲載)



補間した250mメッシュの推定震度分布と、250mメッシュに細分化した平成22年国勢調査、平成21年経済センサス-基礎調査等のリンクによる地域メッシュ統計を重ね合わせ、各行政区の震度遭遇人口を推計した。

行政区名	震度5弱以上 遭遇人口	震度5強以上 遭遇人口	震度6弱以上 遭遇人口	震度6強以上 遭遇人口
全国	50,000	20,000	20,000	10,000
新潟県	10,000			
新潟県上越市	10,000			
石川県	50,000	20,000	20,000	10,000
石川県七尾市	1,000未満			
石川県輪島市	10,000	1,000		
石川県珠洲市	20,000	20,000	20,000	10,000
石川県鳳珠郡穴水町	1,000未満			
石川県鳳珠郡能登町	10,000	5,000	1,000	

全国および震度遭遇人口の多い都道府県と市区町村について掲載。震度遭遇人口が1～999人の場合は1000未満と表示。全国、都道府県の値は、市区町村の値の合計と必ずしも一致しない。

この地域で起こった過去の主な被害地震

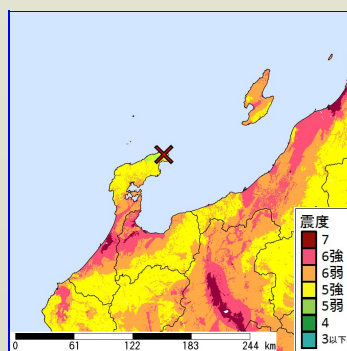
発生日	地震名	M	被害
1847	越後頸城郡	6.5	善光寺地震、被害と区別できないところが多い。濃豪・大破ならびに死傷があった。地割れを生じ、泥を噴出し、田畑が埋没した。清家もあった。
1858	飛騨・越中・加賀・越前(飛越地震)	7.0 ~7.1	飛騨北郡、越中後が最大で、飛騨で震害319、死203。山崩れも多く、常願寺川の上流が堰止められ、堤に決壊して流出および清家1600余、溺死140の被害を出した。新津川断層の運動(石横ずれ)によると考えられる。
1858	信濃北西部	5.7	大町近く・蔵が潰れ、山崩れがあった。この地震が15日、2月26日の地震で堰止められたところが崩れたと考へられる。
1892	能登半島西岸	6.4	家屋・土蔵の破損があった。11日に同程度の地震があり、羽咋郡で全潰2、死1。
1896	石川東北部	5.7	蛸島村・土蔵の破潰2、家屋破壊15。緑樹盛地地震。
1933	能登半島沖	6.0	石川県鹿島郡で死3、家屋倒壊2、破損143、ほかの被害があった。富山県でも傷2。
1943	長野県北部	5.9	死1、住家全壊14、半壊6、非住家全壊20。その他、道路の亀裂などがあった。
2007	能登半島沖(能登半島地震)	6.9	海陸境界地の横ずれを伴った逆断層型地内地震。死1、傷356、住家全壊686、半壊1740(2009年1月現在)。最大震度6(石川県3市町)。津波・余震で0.2mの津波。
2014	長野県北部	6.7	逆断層型地内地震(深さ5km)。糸魚川-静岡間線逆断層帯の北西部部分で発生したと考えられる。住家全壊77、半壊137(2015年1月5日現在)。最大震度6弱(長野県長野市・小谷村・小川村)。

出典：国立天文台編「理科年表 平成29年」，丸善出版（2016），一部表現を割愛

J-SHISから公表している地震ハザード情報

防災科研が公開する[J-SHIS](#)では、ある地点に対し影響を及ぼす全ての地震を考慮し、その地点が大きな地震動に見舞われる危険度、すなわち地震ハザードを評価しています。（2022年地震ハザード評価）

50年間超過確率2%の計測震度分布



再現期間50000年相当の計測震度分布

